

風速計校正用風洞 S500-30

新発売のお知らせ

～ 0.2 m/s の低風速から 30 m/s の高風速まで幅広く対応、高精度・高安定な気流制御を実現 ～

日本カノマックス株式会社（本社：大阪府吹田市、代表取締役会長 兼 CEO・加野稔）は、風速計の校正および流体研究用途に対応する「風速計校正用風洞 Model S500-30」を 10 月 9 日より発売いたしました。

当社の長年培った風洞技術を凝縮し、低風速から高風速までの安定した風速制御を実現。風速計の校正業務から研究・開発用途まで、高精度・高安定・高再現性を実現する測定環境を提供いたします。



1. 開発の背景と概要

各種産業における風速計測や環境モニタリング、流体計測機器の研究開発においては、正確かつ再現性の高い校正環境が不可欠です。しかし、広範囲な風速域で均一かつ低乱流な気流を安定して発生・制御することは、高度な技術を要する課題でした。

本製品「風速計校正用風洞 Model S500-30」は、0.2 m/s の低速から 30 m/s の高速まで幅広い風速範囲をカバーし、送風機の回転数フィードバック制御により優れた気流の制御性・安定性を実現します。直感的に操作できる 10 インチタッチパネルを採用し、現場でのキャリブレーションから流体研究まで、高精度・高安定・高再現性を実現する校正ソリューションを提供いたします。

2. 製品の特長

1. 広範囲な風速域と優れた気流安定性

0.2 m/s の低風速から 30 m/s の高風速まで幅広く対応。30 m/s で風速分布 $\pm 2\%$ 以下、5 m/s 以上で乱流強度 1.5% RMS 以下を実現し、均一で安定した気流を連続生成できます。

2. 送風機フィードバック制御と直感的な操作性

送風機の回転数フィードバック制御により、風速の制御性・安定性に優れています。操作部には 10 インチタッチパネルを搭載し、目標値入力、 ± 1 の微調整、スライダーによる連続調整に対応するほか、運転パラメータの確認やファンの起動・停止もスムーズに行えます。

3. 多様な研究・実験用途に対応する拡張性

通常の風速計校正用途に加え、可視化用風洞としての利用や天秤などの各種オプション取り付けにも対応。研究・開発のニーズに合わせた柔軟なシステム構築が可能です。

3. 製品が使用される主な分野と用途

1. 風速計の校正・メンテナンス分野

各種風速計の定期校正、品質管理、点検作業

2. 流体・気流研究分野

大学・研究機関・企業ラボにおける流体现象の可視化実験および基礎研究

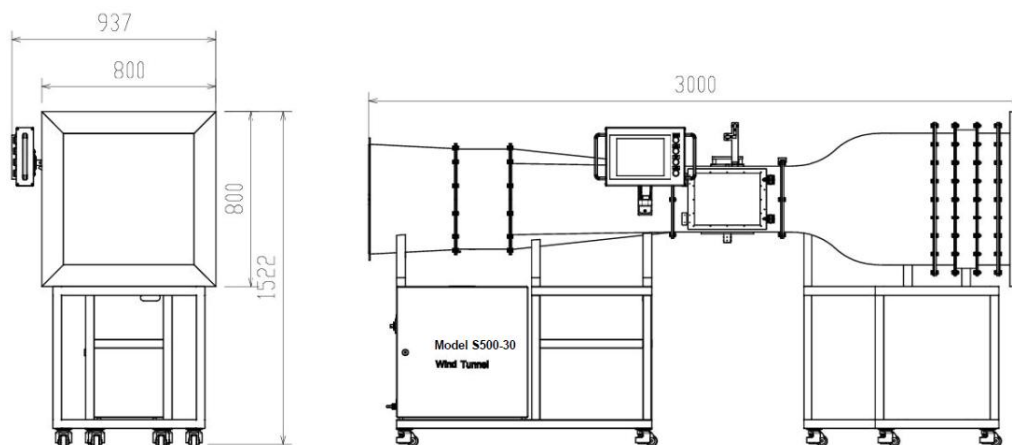
4. 仕様

項目	内容
品名	風速計校正用風洞
型式	S500-30
用途	風速計の校正、流体研究
風速範囲	0.2～30 m/s
試験部寸法	300 × 300 mm (幅 × 高さ)
風速分布	±2%以下 (30 m/s時)
乱流強度	1.5% RMS以下 (5 m/s以上)
風速調整	10インチタッチパネル制御
外形寸法	3,000 × 937 × 1,522 mm
電源容量	AC 220 V・単相・50/60 Hz 2.4 kW
設備質量	約220 kg

※50m/s 仕様も対応可能です。別途お問い合わせください

※AC 電圧変動許容範囲は±10%以内です。

5. 外形寸法図



(単位 : mm)

日本カノマックス株式会社とは・・・

1934年（昭和9年）創業。日本で初めて熱式風速計を販売した計測器メーカーである。気流や水流などの“流れ”と目に見えない“微粒子”を精密に計測する技術に応用した計測ソリューションを提案している。戦時中より、国から先進的な基礎研究を委託されるなど、今も受け継がれる高い技術力には定評がある。現在は、業界に新たな風を吹かすべく、「独創と革新に生きる」という企業理念を掲げ、業界 No.1 のおもてなしカンパニーを目指している。

お問い合わせ先：日本カノマックス株式会社 〒565-0805 大阪府吹田市清水 2-1

TEL：0120-009-750（受付時間：平日 8:45～17:15） E-MAIL：environment@kanomax.co.jp